

- 問1 沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため
 2. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため
 3. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため
 4. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため
- 問2 明治時代に官営の製鉄所が設立されたことで重化学工業が発展した、福岡県北部の地域に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 豊かな水資源と広大な土地を活かして、自動車の生産額が全国1位となるなど、日本最大の工業地帯の中核を担っている。
 2. 水はけの良い扇状地が広がる地形を活かして、りんごの栽培が盛んに行われており、全国でも有数の生産量を誇っている。
 3. 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。
 4. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、夏から秋にかけて出荷されるレタスやキャベツなどの高原野菜の生産が盛んである。
- 問3 筑紫平野において、同一の耕地で一年のうちに米と麦を交互に栽培する「二毛作」を可能にしている背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 冬でも雪が少なく温暖な気候を活かし、土地を休ませることなく効率的に活用するため。
 2. 化学肥料や大規模な農業機械を導入することで、土壌の養分を短期間で回復させるため。
 3. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるため、収穫時期を大幅に早める必要があるため。
 4. 海外からの輸入農産物に対抗するため、米の生産を休止して小麦の専門農家へ転換するため。
- 問4 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
 2. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
 3. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
 4. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工しやすい畜産物の生産に力を入れた。
- 問5 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
 2. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
 3. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
 4. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
- 問6 鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。
 2. 一年を通じて温暖な気候を利用して、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。
 3. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。
 4. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。
- 問7 ある県の農業統計において、第1次産業の就業人口割合が高く、農業産出額の上位3品目を肉用牛、豚、ブロイラーが占めている地域があります。この県における農業や土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 生乳や乳製品の生産額が全国1位であり、冷涼な気候を活かした酪農が行われている。
 2. 耕地面積に占める畑の割合が極めて高く、広大な土地を活用した畜産が非常に盛んである。
 3. 米の産出額が最も多く、広大な平野を利用した単作地帯が形成されている。
 4. 近郊農業が発達しており、鶏卵や野菜などの生産が産出額の大部分を占めている。
- 問8 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 沖縄県
 2. 岐阜県
 3. 石川県
 4. 北海道
- 問9 九州地方の大大分県では、活発な火山活動の恩恵を受けた観光が盛んです。市内各所から激しく湯煙が立ち上がる景観が「地獄」と呼ばれ観光名所となっている地域において、その高熱の蒸気を直接利用して食材を加熱する伝統的な調理文化を何といいますか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. かんだき
 2. 地獄蒸し
 3. 石焼き
 4. 蒸し風呂
- 問10 火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
 2. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
 3. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
 4. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
- 問11 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 埼玉県
 2. 宮崎県
 3. 青森県
 4. 新潟県
- 問12 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため
 2. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため
 3. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため
 4. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため